

第4回 大口町行政経営審議会 議事録

日 時 平成27年11月4日 水曜日 午後6時から

場 所 大口町役場 2階 第1会議室

出席者 田村健治（国際交流事業推進委員）、舟橋里美（商工会）、
木野由美子（NPO法人まちねっと大口）、加藤正男（タイム技研株式会社）、
山田吉昭（株式会社青山製作所）、丹羽昭雄（有限会社宝製作所）、
今尾謙一（愛知銀行）、岩崎恭典（四日市大学教授）、
江端満世志（元議会議員）、吉田美晴（社会教育委員）、
日比野喜也（公募による委員）、井上隆夫（公募による委員）

欠席者 吉田和江（NPO法人子どもと文化の森）、棚村重三（元区長会長）、
井上正直（公募による委員）

事務局 馬場輝彦（総務部長）、社本寛（政策推進課長）、岩田雄治（政策推進課）

議 題 (1)基本計画 分野別計画（案）第1・2章について
(2)その他

配布資料 資料1：第3編基本計画分野別計画（案）第1・2章
資料2：第3編基本計画分野別計画（案）第3・4章
資料3：第3編基本計画分野別計画（案）第5・6章
資料4：第7次総合計画 全体構成

1. あいさつ

副 会 長	<ul style="list-style-type: none"> ○岩崎先生が所要で1時間ほど遅れるとのこと。 ○内容について十分に理解できていない面もあり、議事の取り回しはうまくできるかわかりませんが、皆様のご協力をお願いしたい。 ○まずは事務局から資料説明を頂きたい。
-------	---

2. 議題

(1)基本計画分野別計画（案）第1・2章について

■計画全体の構成とまちづくり戦略について

事 務 局	○諮問につきましては、事務局で再検討した結果、1回にまとめることにしたい。前回の諮問書を差し替えることとし、各委員にそのコピーをお配りしたので、ご確認をお願いしたい。
事 務 局	※資料の全体について説明。 ※資料4「第7次総合計画 全体構成」、第3回審議会の資料2「第3編基本計画総論」を説明。
委 員	○まちづくり戦略や実施方針を、1枚でわかりやすく示せないか。 ○誰が全体をわかっているのか。項目を1枚にしないと、委員の皆さんがわかりにくいのではないか。言葉づかいもところどころ違うのでわかりにくい。
委 員	○前回のまちづくり戦略についてご質問した。

	<p>○分野別計画にも詳細が書かれているが、全体像がわかりにくいので、書かれている内容を自分なりに一覧表に整理してみた。漏れはないかと思う。</p> <p>○施策コードを、横の部署の業務も含めてまとめていけば戦略として整理される。</p> <p>○どうしても引っかかるのは、抜けている章・節があること。それをきちんと整理すれば、縦と横の関係が整理できるのではないか。</p>
事務局	<p>○井上委員のご指摘に対しては、各単位施策について資料4で全体を1枚にまとめている。分野別計画の内容の体系は掲載されている。</p> <p>○細かく整理するなら、加藤委員からの資料も参考にして考えたい。</p>
委員	<p>○そもそも戦略がどうしても必要なのか。無理に戦略を立てることによって、わかりにくくしているようにも感じる。</p> <p>○全体の施策をきちんと進めていけば、戦略を立てなくてもまちづくりは進んでいくのではないか。</p>
委員	<p>○まちづくり戦略を、分野別計画との体系をマトリクス的に整理できないか。</p> <p>○個々のつながりや関係性をわかりやすく見せられないか。</p>
委員	<p>○第6次計画でも作成していた相関図が必要との指摘ではないか。</p> <p>○将来像、尺度、目標、分野別計画のつながりや関係を図で整理すればよいのではないか。</p>
事務局	<p>○大綱は、全施策を分野別に整理して並べたもの。</p> <p>○まちづくり戦略は、3つのテーマで横断的に連動させながら進めるべき取組について整理している。関連する施策・事業を一覧表で掲載している。</p>
副会長	<p>○戦略は、町が10年間で重点的に進めていく取組を整理したという理解でよいのか。</p>
事務局	<p>○前回の会議の資料1を使って説明したい。施策の大綱と基本計画、まちづくり戦略の関係性がしっくりきていなので、簡単にご説明したい。</p> <p>※第3回審議会 資料1「基本構想」について説明。</p>
委員	<p>○まちづくり戦略1～3が、分野別計画とどうつながっているのか、マトリクスをつくったらわかりやすいのではないか。</p> <p>○つながりの濃淡を、例えば◎○△×などのマークで表現したらどうか。</p> <p>○一般の町民が見たときにわかりやすくすべきではないか。</p>
事務局	<p>○個別の施策・事業とのつながりを示したほうが、具体的な内容がわかりやすいのではないかと考え、まちづくり戦略はこのような作り方にしている。</p> <p>○20～30年先を見据えながら取り組むべき施策・事業を抽出している。</p> <p>○ひとまず全体の構成を理解していただいたうえで、分野別計画を議論して頂き、再度まちづくり戦略をご検討頂く進め方もあるかと思う。</p>
委員	<p>○たとえば、26ページの第1章の第3節「青少年健全育成」が、まったくまちづくり戦略に出てこない。第3章第1節の防災に関する取組も、重要な問題であるがまちづくり戦略に入っていない。</p>
事務局	<p>○戦略は、もう少し先を見据えて取り組むべき内容を絞り込みたい。全部入れてしまうと、分野別計画との違いがなくなり総花的な内容になってしまう。</p>

委 員	○安全・安心の分野については、町民の関心も高い。しかしながら、まちづくり戦略からは漏れているが、よいのだろうか。
事 務 局	○当然ながら、防災などに関する取組も計画的にしっかり進めていく。 ○一方で、将来的に直面するであろう課題に対して、今から長期的な視野を持って戦略的に進めていくべき取組もあり、こうしたものをピックアップしている。 ○今後、分野別計画も議論して頂く過程で、足りないものがあれば、まちづくり戦略に加えて頂けばよいと考えている。
委 員	○一覧表をつくったらどうか。
事 務 局	○まちづくり戦略の視点は、「重要かどうか」だけではない。例えば災害に関する内容は、粛々とやるべき重点課題だが、幸い大口町の場合には、例えば津波を防ぐための防潮堤を建設するべきといった緊急を要する危機的な状況ではない。 ○人口増加に対する対策は、すぐに効果が見えにくい面があるからこそ、今から若い子育て世代の定住を進めていくことで、将来的には人口増加や年齢バランスの確保が成果としてあらわれてくる。 ○どうしても緊急性は低いものの重要である施策が見過ごされがち。いまなすべきことは何かという視点に立って、時間軸を取り入れながら、今から長期的に取り組むべき施策・事業をピックアップしている。
会 長	○本日、審議会に遅れてしまったことをお詫び申し上げたい。 ○まずは分野別計画の審議にあたり、全体との関係をご議論頂いていたと思う。 ○ターゲットは明確だが、様々な分野にまたがる課題について、それをまちづくり戦略で横断的に整理している。分野別計画で内容を検討して頂いたうえで、まちづくり戦略の内容についてもご意見を賜りたい。 ○分野別計画を検討するなかで、必要な施策があればまちづくり戦略に入れ込んでいくという議論をすべきではないか。
委 員	○相関関係でいえば、戦略は大綱や分野別計画の上位にあたるものなのに、保留にしておいてよいのか疑問がある。 ○まちづくり戦略とは、町としての将来にわたって目指す方向性だと思う。理念や構想があって、はじめて分野別計画があるので、先に議論する必要があるのではないか。
事 務 局	○様々な業務を網羅したのが分野別計画、そこから焦点をあてて取り組んでいくべき内容を絞り込んだのがまちづくり戦略であるとの理解である。
会 長	○行政として全組織がやっていることをすべて網羅しているのが分野別計画である。 ○分野別計画をしっかりとやりながら、そのなかで何をピックアップしていくべきなのか、そういう構造で全体を理解して、人口増加等の課題に向けて必要なことを整理していくことが大事である。
事 務 局	○計画の体系としては、理念や将来像があり、その下に大綱、その下に分野別計画、まちづくり戦略が位置付けられる。総合計画には、まちづくり戦略がなくても問題はない。

	○今後、大口町として、日々の仕事をしっかり進めながら、一方で明確な方向性を戦略的にもって優先的に取り組んでいる施策・事業を位置付けたいとの思いから、今回の計画ではまちづくり戦略を設けることとした。
委 員	○人口構成のバランスをとることは最重要な位置づけであると思う。それをしっかり方向性として位置付けてから、分野別計画を考える必要があるのではないか。
事 務 局	○総合計画にまちづくり戦略を位置付けたのは、将来を見据えた場合にあれもこれもできないので、平時から長期を見据えてやるべき施策・事業をあれかこれかと絞り込みながら、戦略としてまとめていきたいと考えている。
会 長	○まちづくり戦略を見据えて、分野別計画をしっかり議論して頂きたい。
事 務 局	○個別分野の内容をしっかり見て頂きながら、まちづくり戦略についてみて頂きたい。

■第1章について

事 務 局	※資料1「第3編基本計画分野別計画(案)第1章」を説明。
会 長	○第1章についてご説明いただいた。全体について、ご意見を頂きたい。 ○現状と課題を理解し、その課題を解決するための取組がしっかり位置付けられているか、また住民の視点からみて課題の過不足がないか、さらに解決策についてのご提案などをお願いしたい。 ○各課各係が日々の業務の中で考えている課題や取組が書かれているが、見落とされている観点などがあれば、ぜひお気づきの点をご指摘いただきたい。 ○その意見を踏まえて、役場のほうで再検討して修正を加えていく。
委 員	○放課後児童クラブの充実について。 ○基本構想として子育てしやすいまちを目指している。 ○3ページ、児童クラブの利用料の適正化が書かれている。今後の経営等を考えれば町として値上げも検討すべきことは理解しているが、計画にあえて記載する必要はないのではないか。 ○6ページの児童相談センターとの連携とある。現段階で児童相談センターが充実されているのか認識不足だが、まずは体制を整えることが先決ではないか。 ○9ページで教員の指導力向上とあるが、自治体として取り組むことができるのか。町として計画に触れていくべきなのか。教員への対応は別枠で考えるべきではないか。 ○11ページで、給食センターについて老朽化の課題に応じた対策が書かれている。施設運営のあり方を検討するのは重要だが、民間に任せてしまうという方針に読める。結果的にそうなる可能性もあるかもしれないが、民間委託が前提となるような書き方は違和感がある。 ○15ページ、家庭での子育て10か条、教育の基本方針はぜひ資料を見てみたい。10か条を文章として普及啓発するだけでよいのか。学校教育と家庭教育の両方が大事であり、家庭教育の充実が必要である。 ○保護者学級のように、講師を招いた講演会などで保護者に学んでもらえるような

	機会を充実することが重要ではないか。
事務局	○適正化の言葉には、料金のアップとは明示していない。大口は周辺市町と比較して安い料金設定になっている状況はある。その安さを売りにすることも考えられるが、内容の充実を考えるうえで値上げを考えることもある。
委員	○今後、小学校6年生まで対応することになると、利用者数は増えて、運営費の問題も懸念されるので見直しは迫られると思う。 ○ただし、計画案のなかで、あえて値上げするという文言を記載する必要があるか。表現を見直してほしい。
事務局	○児童センターは県の施設であり、関係機関には警察も含まれる。
委員	○県の児童相談センターと明示したほうがわかりやすい。 ○言葉の使い方を慎重にしたほうがよい。
事務局	○教員は県職員になるので、大口町としてできることは限界があるが、町としての教育方針もあるので、それに応じた研修などは行っていきたい。 ○教員は異動するので、育成にコストをかけるのはもったいないとの見方もあるが、研修を通じて地域全体の教職員のスキルアップにもつながる。 ○指導力の向上という言葉は少し強いので、見直しが必要か。
会長	○大口町の子どもたちのために研修を受けてもらうという思いとのこと。
委員	○「安心安全を考慮した施設運営」といった表現で十分である。
事務局	○子育て10か条、次回にお配りしたい。
委員	○5ページの児童遊園の整備について。当事業所のそばにある児童遊園はほとんど活用されていない。ベンチに板すらなく、遊具もない。 ○周囲に子どもが少ないという立地条件なので、わざわざ遊びに来るような人は少ない。会社としてベンチくらいは整備してもいいと思う。ただ、町として現状をどのように把握し、どのような方針もっているのか。 ○ニーズに応じた整備のあり方などもあっていいのではないか。
会長	○第5章でもアダプトプログラムに関する施策が出てくるが、いまのご指摘はいかがでしょうか。
事務局	○ご指摘のように、現状をしっかり把握しきれていない面がある。 ○アダプトプログラムでは事業所にもぜひご協力をお願いしたい。
委員	○9ページの「学校支援員」、「学校支援地域本部」、11ページの「学校支援地域本部事業」について補足説明をお願いしたい。
事務局	○学校支援員は、支援を必要とする児童に対応するために、とくに1年生のクラス数に相当する人数を町として独自に採用している。 ○学校支援地域本部と学校地域支援本部事業は同じ内容を指している。学校に地域のボランティアが関わり、例えば学校の清掃や草刈りの支援や、授業における準備や片付けの支援、図書館の蔵書整理など、様々な支援を頂いている。
委員	○学校支援員には教職員の免許が必要なのか。 ○養成講座などを行って、担い手を増やしていくような取組は考えられないか。

事務局	<p>○免許は必要とせず、あくまでボランティアとして支援してもらっている。</p> <p>○教員との役割や責任とのすみわけなどの課題はあるが、ニーズは確実にあることから、人数を増やしていくことが求められる。</p>
委員	<p>○2ページの子育て支援について、今回の計画で新規の取り組みはあるのか。</p> <p>○少子化に対応するために、子育てや教育への予算を増やしていくのか。</p> <p>○まちづくり戦略の1つ目にも位置付けられており、今後充実させていく方向にあるのか。</p>
事務局	<p>○新規施策について。項目では新規のものはないが、内容的には新しい取り組みも多数盛り込まれている。北保育園での0歳児から2歳児までの定員を増やすなども、新規の取り組みの一つである。</p> <p>○子ども子育て支援事業計画においても、子どもが減るからこそ充実すべき対策も盛り込みながら、子育てにやさしいまちを方向性として示している。</p>
委員	<p>○8ページの「チームティーチング」は学校支援員とは別のものか。</p>
事務局	<p>○児童生徒が多いと指導が行き届かない算数や数学などの科目において、教員の資格をもった教員を追加で配置する取組で、学校支援員とは異なる。</p>
委員	<p>○5ページ、②の2行目の文言で、「・・・や・・・や・・・や」が続き、文章が長い。途中で文章をきり、わかりやすく見直してほしい。</p> <p>○7ページの現状と課題に「※」印があるが、用語解説という意味なら大きすぎる。</p>
委員	<p>○4ページ、子育て支援機能に関する記述について句読点を見直すべき。</p>
会長	<p>○5ページの文章は、全面的に見直す必要がある。</p> <p>○今後の10年間を考えたとき、外国籍の子ども達のことはそれほど大きな課題ではないのか。減ることはないので、考えるべき課題ではないか。</p>
事務局	<p>○現状ではさほど困った状況にはないが、担当課に確認してみたい。</p> <p>○保育においても、今後関連する課題が出てくるかもしれない。</p>
委員	<p>○国際交流協会による日本語教室の取組を支援している。</p> <p>○多文化共生だけではなく、教育という視点からも児童生徒や保護者への支援が大事である。</p>
委員	<p>○犬山市ではNPO法人が頑張っているが、大口町ではそういった団体はないのか。</p>
委員	<p>○「まちネット」では、ボランティアの日本語教室をサポートしている。</p> <p>○母親に対して、学校での説明会の通訳を仲介するなどの支援も行っている。</p> <p>○こうしたニーズは少しずつ増えているが、まだそれほど大きな課題にはなっていない。</p>
会長	<p>○よろしければ、第2章も説明してもらったうえで、全体についてご意見を頂くようにしたい。</p>

■第2章について

事務局	※資料1「第3編基本計画分野別計画（案）第2章」を説明。
-----	------------------------------

会 長	○第2章について、どこからでも結構ですのでご指摘をお願いしたい。
委 員	○23 ページで、がんの予防の対策に禁煙が出てくるが、まずは予防、早期発見が大事になる。禁煙対策は十分なのか。 ○介護保険の未払者が10%を超えている。財政健全化として問題ではないか。 ○45 ページ、社会保障費は歳出の何割程度を占めるのか教えてほしい。 ○福祉医療費助成の対象者は何人くらいになるか。数値目標にあがっているので、相当に努力しないと厳しい内容ではないか。
事 務 局	○禁煙対策は取り組んでいるが、十分ではないので引き続き取り組んでいく。 ○介護保険料は県内で最も低い水準にある。ただし、所得の問題もあり未払い者に対しては粘り強く対応していくしかない。 ○福祉医療には、母子父子や障がい者も含まれる。人数や福祉医療費についてはすぐに答えられないので、調べたうえで後日ご報告したい。
会 長	○禁煙について表現するかどうか検討してほしい。 ○次回までにデータをご提供いただきたい。
委 員	○21 ページの現状と課題に、2014年10月現在の高齢化率が21.4%とあるが、29 ページでは2015年10月現在の高齢化率が21.9%とある。最新のデータにそろえてほしい。 ○社会福祉協議会、地域包括支援センター、コミュニティワークセンター、施設の指定管理者など様々な団体がある。町本体として、そういった関係機関との連携についてのどう考えているのか。 ○34 ページ、介護保険制度の周知について、地域包括支援センターや町の窓口における対応の充実とある。ただし現実には、住民からは窓口がどこかわからないとの声も多く聞く。 ○ハートフル大口では、相談対応の体制がわかりやすく示されている。 ○将来的なことを考えたときに、社会福祉協議会との関係は引き続き重要な課題である。
事 務 局	○関係機関との連携や委託が職員の削減とは無関係であることをお断りしておきたい。 ○社会福祉協議会は、住民に会員になってもらって地域ぐるみで進めていくもの。行政では公平平等や制度の限界のなかでやりきれない部分について、行政と連携して補完しあいながら福祉に対応してもらっている。 ○地域包括センターなどについても、お互いに役割分担を行い協力関係をもちながら、幅広い連携のなかでニーズに応じた体制を充実させていきたい。
委 員	○外郭団体側の考え方や対応の可否などについても確認が必要ではないか。
委 員	○町の職員は手いっぱいなのか、外郭団体が町民向けのサービスの受け皿になっているので、充実させていくという方向が書かれている。
事 務 局	○協働の考え方のなかで、課題に応じて様々な団体とパートナーとして協議を進めていくことは大事である。
委 員	○33 ページに、一人暮らし等に対する安否確認がある。郡上市では水道利用状況

	で安否確認をしていると聞いている。大口町ではどのように行っているのか。
事務局	○新聞店や飲料配達などの事業者と連携して見守りを行っている。 ○郡上市のように、しっかりした対応は十分にできていない。ここ3～4年で取り組みを強化しており、今後は大きな課題として具体的な取組が求められる。
委員	○23 ページの「健康マイレージ」はどのように行うのか。
事務局	○健康づくりの取組に対してポイントを与えて、店舗で割引などの優遇を行う取組である。
委員	○35 ページの障がい者福祉で、主な取組の最後に「・・・事業」がついている。 ○49 ページで、国民健康保険の構造的な問題に対する財政基盤の箇所について、文章の意味がわかりにくい。
事務局	○なるべく削除する方向で修正しているが、国の事業名などは削除すると意味がわかりにくくなるものもある。 ○固有名詞に事業がついているものもあり、安易にとれるものではない。
委員	○35 ページの障がい者福祉について。障がい児向けのケアハウスがなく、他の市町に頼らざるを得ない状況にある。 ○町として前向きに取り組むという方向があったと思うが、掲載は難しいか。 ○利用対象者が少ないといった問題もあるが、そういったことも加味しつつ、もう少し前向きな表現は難しいか。
事務局	○検討を進めるなかで必要性も理解しているが、障がい者の計画においても整備することまでは記載していない。 ○グループホームは、9人がワンユニットであり、経営上は2ユニットが必要であるとのことなので、現実的には難しい状況にある。 ○ただし、保護者が高齢化に伴う障がい児への対応がとても重要な課題になってくるので、引き続き担当課にしっかり伝えて、検討を行っていききたい。
委員	○保護者会などで話し合いを進めているが、運営面の問題もあり、現実的には難しい状況にある。 ○障がい者児福祉において、現状では町内に未整備なので町外の施設を利用せざるを得ない状況にあるが、より積極的な姿勢を示してもらえるとうれしい。
会長	○表現として、より踏み込んだ文言を検討してほしい。
委員	○37 ページの上から3行目にある「庁内」は、表現として正しいか。
事務局	○役場内に設置していることを指しているなので、この表現で間違いではない。
会長	○予定の時間がきているので、本日はこのあたりで終了としたい。 ○次回の冒頭で、改めて第1・2章について補足があればご発言いただき内容を確認したうえで、次の第3・4章の議論に進めていきたい。 ○ご発言が十分にできなかった委員がいたら、文書でも構わないのでぜひご意見を頂きたい。

(4) その他

事務局	○次回は11月10日(火)になる。開催案内を事前資料と一緒に入れているので、
-----	--

	ご確認いただきたい。
--	------------

以上